

羽島中に黒板消しクリーナー

北川工務店と
大垣西濃信金 私募債を活用



黒板消しクリーナーを寄贈した北川晴将社長(後列右から2人目)と黒田和弘支店長(同右端)＝羽島市足近町、羽島中学校

羽島市正木町須賀小「飛躍の一助となれば」
松の土木・建築業、北とあいさつ。生徒を代
川工務店(北川晴将社長)と大垣西濃信用金
庫は15日、同社が発行した地域貢献型私募債
「日々の勉強や学校生活に役立てたい」と感謝の言葉を述べた。
(亀山大樹)

企業の私募債発行に伴い同金庫が受け取った手数料の一部を活用し、発行企業が指定する学校や団体に物品を寄贈する取り組み。北川社長が同校のPTA会長を務めた縁などから、同校生徒会の希望を受けてクリーナーを贈ることに決めた。

贈呈式が同校で行われ、北川社長と同金庫羽島支店の黒田和弘支店長が森山健校長に目録を手渡した。北川社長は「生徒の皆さんの